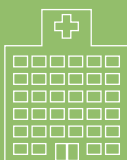


八鹿病院 ニュース

2009年
4月



公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』

新院長 就任のご挨拶

平成21年4月1日から岩井宣健先生の後を受けて、院長に就任しました。

私たちの公立八鹿病院は昭和21年10月に日本医療団八鹿病院として開設され、その後は病院の増築・新築を続けて、平成4年には看護専門学校、老人保健施設を開設平成5年訪問看護センター、平成13年8月には回復期リハビリ病棟の認可、平成14年6月から八鹿病院新築工事に着手して平成19年9月420床の新病院が完成しました。

設計段階では八鹿病院で保健、医療、福祉のすべてに対応できる「病院完結型医療」を目指していましたが、折からの全国的な医師不足で新病院完成前の平成15年には55名いた医師が、本年4月からは39名になりました。この間、昨年脳神経外科が閉鎖となり、本年7月からは小児科も閉鎖する見込み



公立八鹿病院 院長
宮野 陽介

です。そして産婦人科も4月から里帰りお産の制限をせざるを得ない状態となっています。

この社会問題化した全国的な医師不足はすぐに解消できるものではありません。医師の確保に全力をあげるのは当然ですが、当面は地域の診療所の先生方と連携して病院医師は入院並びに救急に対応するために、高血圧や糖尿病など慢性疾患は地域の診療所の先生方に「かかりつけ医」になっています。そして、当院の特徴である各種がん検診や在宅医療を、在宅ホスピスも含めて今後とも推進していきます。

救急医療に關しましても当院で対応できない脳卒中などの急性期は公立豊岡病院脳神経外科で対応していただき、その後は早期に八鹿病院の回復期リハビリ病棟に帰ってきていただき治療して

います。また、この地域に1つしかない八鹿病院の緩和ケア病棟には豊岡市からの入院も増えています。今後もこのような病・病連携をより密接に行い、医療機関がそれぞれの得意分野を活かし地域全体で完結する「地域完結型医療」を推進して、この難局に対応していきたいと思っております。

今しばらく地域の皆様方にはご迷惑をおかけしますが、医師不足の現状をご理解いただき、皆さんの八鹿病院を応援していただきますようお願いいたします。八鹿病院は全職員一丸となって地域の皆様の健康を守るために頑張ります。

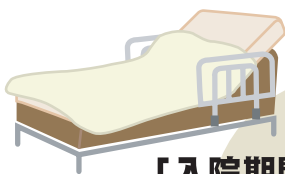


おなかを切らずにガンを治す 内視鏡治療 ESD

公立八鹿病院 消化器内科 森田親二

みなさんは「胃ガン」といえば、おなかを切る大きな手術が必要とされている方が多いのではないのでしょうか？以前より早期の胃ガンを切除する内視鏡治療はありましたが、ごく小さいものに限られていました。近年、サイズを問わず粘膜にとどまる早期胃ガンを内視鏡でより安全に切除する内視鏡治療(ESD)が開発されるなど、医療の技術は日々進化しつづけています。

当院では、内視鏡治療(ESD)をいち早く導入し、適切で、より安全な治療を日々実践しています。



「入院期間が短くてすむ」

治療後は合併症がなければ約1週間の入院ですみます。



「治療後、より早くに食事ができる」

翌日の胃カメラ検査で出血の有無を確認し、翌日には水分のみ、そして徐々に食事が開始できます。

「退院後の制限が少ない」

制限といえば、しばらくは過激な運動を避ける・刺激のある食事やアルコールを抑える程度で、あとは普段の生活を送っていただけます。

内視鏡治療はこんなところがすばらしい
内視鏡治療には、外科手術と比べ身体への負担が少なく、治療後の回復までの期間が少なくすむなど、多くのメリットがあります。

進化した内視鏡治療「ESD」とは

ESDが登場するまでの早期胃がんの内視鏡治療は、EMR(内視鏡的粘膜切除術)が主に用いられていました。しかし、EMRでは切除できる病変の大きさに制限があり、それ以上の病変だと数回に分けて切除を行うか内視鏡治療ではなく外科手術を行わなければいけませんでした。この問題を解決し、今まで困難であった「サイズの大きな病変」や「潰瘍を合併する病変」に対しても一括切除する事を可能にしたのがESDなのです。

この画期的な治療法であるESDの開発により、ついには2006年4月に胃の早期がんに対するESDが保険適応となり、2008年4月からは食道がんに対するESDも治療も保険適応となりました。

当院におきましては、条件を整えば、早期胃がん(胃腺腫も含む)に対して全例ESDを施行しており、特にESDで有名な神戸大学消化器内科の森田圭紀先生の直接指導のもと、最新で

適切かつ安全な治療を行っております。

切除に伴う危険性にも対応できる

当院では、ESD治療にあたり、偶発症の可能性について十分な対応を行っており、より安全に切除が行えるよう取り組んでいます。

EMRとESDの違い

従来の内視鏡治療 (EMR)

ループ状の電気メスで切除する治療

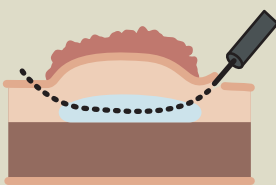


- 適切な深さが設定できない
- 切除できる病変の大きさに制限がある為大きなものは分割切除

約20%で局所の再発あり

新しい内視鏡治療 (ESD)

病変の粘膜下層を剥離する治療



- 適切な深さの設定が可能
- 理論的には大きさに制限なく一括切除が可能

局所の再発ほぼ無し

● 出血

粘膜を切除する際、出血は必ず起こりますが、出血部位を直接内視鏡で観察し、確実に止血しながら施行します。また、出血がなくても血管を見つけた場合には事前に凝固処置をします。

● 胃壁に穴があく(穿孔)

ESDの際、特に胃潰瘍の既往などにより、胃の線維化を起こしている部位などを剥離する際、胃に穴があく場合があります。胃に穴があくと、空気や胃の内容物が腹腔内に漏れて、気腹や腹膜炎を起こすことがあります。その場合には、内視鏡的にクリップをかけて縫縮し、ほとんどの場合が絶食・抗生物質の投与で治癒します。

がんは早期発見・治療で「治る病気」

ESDの適応は、リンパ節への転移がなく、潰瘍を伴わない早期がんの場合のみです。

大きさも問わず治療が可能となり、外科手術を受けなくてもがんを治療することができます。しかし、がんが深く浸潤している進行がん・末期がんや未分化がん(悪性度の高いがん)の場合は、外科手術が必要となります。

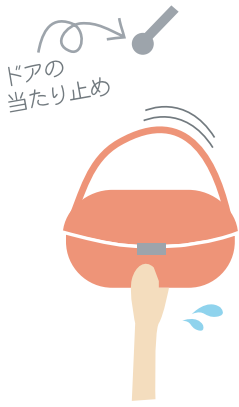
現在は、医療の進歩によって早期がんのうちに処置すれば、がんは治せる病気になっていきますので、皆さんの健康と安心のために、早期発見・早期治療につながる内視鏡検査の定期健診を受けられることをおすすめします。

「ご意見内容と回答」

八鹿病院では、よりよい病院を作るために、皆様からのアンケートでのご意見をいただき、そのご意見についての回答を院内に掲示してきました。今回、その中でもよくある質問についてをご紹介します。

トイレの荷物かけが高すぎる

【回答】実はトイレのドアで高いところにあるものは、荷物かけではなくドアの当たり止めになります。八鹿病院ではよりお年寄りにも使いやすく、荷物など重いものにも対応するため、便器の隣にステンレスの置き台を設置してより患者さんの利便性を図っております。ご理解をよろしくお願い致します。



コインロッカーを置いてほしい

【回答】旧病院で、一時コインロッカーを設置していましたが鍵の紛失、ロッカーの破損が相次ぎ、管理上の問題から撤去させていただきました。その後、対策として、お荷物等がある場合は時間内であれば医事課、時間外であれば時間外受付にお申し出ただけであれば一時的にお預かりすることもさせていただいています。今後もコインロッカーの設置については現状どおりとさせていただきますので何卒ご理解の程お願い致します。

病室でラジオ（AM）が聞きたいが受信しにくい

【回答】ご意見があったとおり、病院の構造上（鉄筋造り）ラジオの受信は周波数により聞き取りにくい場合があります。病院の構造もですがこの山間の地域では通常でもあまり感度は良くありません。ただ、ラジオを楽しみたいという患者さんもおられると思います。調査したところFM放送であれば受信が可能であることがわかりましたのでご理解願えればと考えております。FM放送の受信感度が悪ければ職員にお申し付けください。

屋上を開放してほしい・喫煙コーナーを増やしてほしい

【回答】健康を害する恐れのある、タバコの喫煙について公共の場所では規制されていく方向にあり、病院建物では全て禁煙となっております。屋上テラスも例外ではなく禁煙になっていた

のですが喫煙者が後を絶たず、やもなく屋上テラスの出入りを停止しています。大変良い場所ですので皆さんのご協力で禁煙が守られ快適な空間になれば開放できると思います。ご協力をよろしくお願い致します。

入院食のおかゆに味がついていない

【回答】入院されている患者さんの中には、塩分を厳しく制限しなくてはならない方もたくさんおられます。また、食事について何も制限する必要のない患者さんでも病気の予防のために、国は入院患者さんの食事の塩分を1日10グラム以下にするよう指導しています。これらのことから、当院ではお粥には、あえて塩味をつけていません。なお、うめの果肉、のり佃煮、たいみそなどの「小付け」を毎食必ず付けていますので、ご利用ください。また、塩を希望される患者さんには、主治医等の許可があれば提供いたします。ご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。

待ち時間がかかりすぎる

【回答】 現在八鹿病院では、患者さんの待ち時間短縮を図るため、各科で予約制を取り入れてあります。そしてなるべくご希望の日時に合わせて受診できるようにしています。しかし、このように予約制を導入していても、時に一人の患者さんの診察時間が長くかかり、また急患の対応で予約時間がずれてしまうことがあります。今後待ち時間短縮の努力をして参りますので、なにとぞご理解・ご協力をいただきますようお願い致します。

電話が遠くて不便

【回答】 電話の設置場所でご不便をおかけしています。出口に近いところへの設置要望ですが、新病院になり患者さんの利便性を図るため、西側と東側の2カ所に玄関を設置し運用している関係で、人の集まりやすい中央部分に電話コーナーを設置しています。ご理解をよろしくお願い致します。

病衣にポケットがあれば便利だと思っただが？

【回答】 病院指定の病衣を着用していただいています。この病衣は診察及び治療が行いやすいデザインとなっており、看護するものにとつては最良のものと感じています。ポケットがついていない理由は、病衣交換時にコイン等様々な忘れ物があることもですが、衛生面でも配慮するため、ほごりがたまらないようにポケットのような袋状のものはあえて付けないように指定しています。ご不便をおかけすることがあると思いますが、ご理解をよろしくお願い致します。

カード式テレビの料金が低い

【回答】 従来より入院したときの環境を良くするためテレビと冷蔵庫を設置していますが、料金設定については近隣の病院と同程度の設定(200分/千円)にしています。ご理解をお願い致します。

ます。なお、長時間のつけっ放しにしておくと料金がかさばりますので、テレビを見ない時はスイッチを切り料金の節減と省エネに努めていただくようお願い致します。

ロビー等にテレビを設置しないのはなぜ？

【回答】 ロビーなどにテレビを設置すると遅くまでご覧になったり、また、大きな音量でご覧になることが予測され、このことが他の患者さんにご迷惑をおかけすることになります。「病院は療養の場である」といったことを念頭にさせていただいております。そのため、ご案内させていただきます。そのために、お部屋でテレビをご覧になる場合、イヤホンをご利用いただいているのも、このトラブルを事前に防止するための方法です。何卒ご理解の程お願い致します。



八鹿病院ホームページで動画が視聴できます！

養父市ケーブルテレビふれあいトピックスで放送された八鹿病院についてのニュースが、ホームページで視聴できます。是非ご覧ください！！

八鹿病院ホームページ <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>
【トップ】→【病院のご紹介】→【メディア掲載情報】→【テレビ】

※一部の機種では視聴できない場合もあります。ご了承ください。





小児科閉鎖のお知らせ

小児科常勤医師退職により、平成21年4月より診療体制を変更させていただいております。

また、現在の常勤医師(1人)が不在になるため、**平成21年6月末**をもちまして、小児科を閉鎖させていただくことになりました。現在、一刻も早い再開を目指して医師確保に全力をつくしております。患者の皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

院長

平成21年 4・5・6月

午前

一般小児外来
(診療時間:午前9時~11時)

午後

予約の方のみ診療



7月より小児科閉鎖

新しく着任された先生のご紹介 (4月1日付) ~よろしくお願ひします~



【内科】

てらした さとし

寺下 聡 先生

2年ぶりに但馬にもどってまいりました。よろしくお願ひします。



【内科】

やはた しんすけ

八幡 晋輔 先生

モットーは「患者さんと同じ目線でわかりやすく丁寧に」です。皆様のお力になれるようがんばります。



【放射線科】

かわい つよし

河合 剛 先生

放射線科医師というとなじみがないと思いますが、検査や治療など担当しますので、よろしくお願ひします。



【眼科】

まえだ いくよ

前田 郁世 先生

眼の調子が悪い時は、何なりとご相談ください。よろしくお願ひします。

退任された先生のご紹介(3月31日付) ~お世話になり、ありがとうございました~

【外科】上田 毅 先生

【放射線科】遠藤 雅之 先生

【小児科】田中 良直 先生

【眼科】難波 幸子 先生

【麻酔科】坂本 昇太郎 先生



小児科休日診療のお知らせ

片山キッズクリニックの先生による診療です。

●受付時間 8:30~11:00 13:30~15:00

●診察日 5月10日(日)

●お問い合わせ **公立八鹿病院 小児科**